

平成31年度入学生用カリキュラムマップ

【中学校教職課程】

●教職基礎科目

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目 | | | | | | | | |
|------------|-------|----|--|---|----------------------|----|-----|----|---|----|-----|------|---|
| | | | | | 凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | |
| 19JTES1001 | 日本国憲法 | 1 | 教職を目指す人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念・体系・機能等について学ぶ。 | ①日本国憲法についての関心を高め、基本的知識をもつ。②社会の諸事象や日々の生活の中で起こる諸問題を日本国憲法に照らして考えることができる。③学校教育と憲法との関わりについて、自ら考える能力を身につける。 | | ◎ | | | | | | | ○ |

●教育の基礎的理解に関する科目等

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目 | | | | | | | | |
|------------|---------|----|--|--|----------------------|----|-----|----|---|----|-----|------|---|
| | | | | | 凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | |
| 19JTES1002 | 教育原理 | 1 | 中学校教諭または栄養教諭に必要な教育の基礎的理論について、以下の諸点から講じる。 (1) 人間学・教育学 (2) 教育の意義・目的・理念・歴史・未来 (3) 人間形成と家庭・地域・社会との関係 (4) 教育実践の理論と実際 | ①教育的営みの意義・目的等を理解している。②子どもの成長発達に関わる教育者の役割について、歴史的経緯を踏まえて理解している。③人間形成と家庭・地域・社会の関係性を理解している。④教育実践の理論と実際の関連性を理解している。⑤現代教育の課題を把握し、解決策を探求することができる。 | | ◎ | | | | | | | ○ |
| 19JTES1003 | 教職入門 | 1 | 1. 中学校教諭または栄養教諭として必要な資質能力や基礎的知識について講じる。 2. 特に教職の意義および役割、職務内容についての理解を深める。 3. 教育への理解と教職への関心を高め、進路選択における主体的な夢を喚起し、以後の学年次の教職課程履修への自覚と意欲を高揚させる。 | ①教職全体について総合的に理解し、2年間の大学生活および教職課程履修について、学ぶ意欲と計画性を高める。②教職の意義や教員の果たす役割を理解し、教職を志す意識を明確にもつ。③明確な教員像をもつことができるよう、教員の職務内容は校務分掌に基づき分担され、学校が組織として機能していることを理解する。 | ◎ | ◎ | | | | | | | ○ |
| 19JTES1004 | 教育行政学概論 | 1 | 1. わが国公教育の理念と制度およびその行政・政策システムについて教育行政学の視点から講義し、歴史と現状への理解を深める。 2. 現代の公教育制度を運営・管理・改革する教育行政およびその実践主体としての学校の経営と学級経営について、基礎的知識・技能を学ぶ。 | ①教育的行為が日常的に展開されている基本的な教育空間と教育機能等について、生涯学習社会論の視点から基礎的理解を得る。②公教育制度としての学校教育システムについて、教育行政学の視点から基礎的知識を得る。 | | ◎ | | | ○ | | | | ○ |
| 19JTES1005 | 教育心理学 | 1 | 1. 中学校教諭または栄養教諭として必要な基礎的な知識・技能について、心理学の視点から学ぶ。 2. 教育心理学の基礎知識や技能を学ぶことにより、教育の対象となる幼児・児童・生徒の発達と学習のプロセスへの理解を深める。 | ①教育心理学の基礎的な知識を他者に説明することができる。②教育現場で起きている様々な問題の対処法について、教育心理学の知識と関連づけた意見を述べることができる。③学校教育に関する信頼性の高い資料を採ることができる。 | | | ◎ | | | | | | ○ |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目 | | | | | | | | |
|------------|----------------|----|--|--|----------------------|----|-----|----|---|----|-----|------|---|
| | | | | | 凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | |
| 19JTES2006 | 特別支援教育概論 | 2 | 1. 特別支援学校教諭だけでなく、通常学級担任も各種障害について知識や技能が求められていることの現状と背景について講じる。 2. 各種の障害を有する幼児・児童・生徒への効果的な教育や支援のあり方や関係機関との連携を密にした教育実践を行うための知識や技能を理解し、インクルーシブ教育の具体化を模索する。 | ①各種の障害および障害児について基本事項を理解する。②障害児を指導するための実態把握や指導方法を知る。③各種の障害に基づいた教育のあり方を理解する。④障害児を育てる保護者の心情を理解する。⑤障害児者が置かれている社会的状況を知る。⑥事例をもとに指導方法を考えることができる。 | | | | | | | ◎ | | |
| 19JTES1007 | 教育課程概論 | 1 | 1. 新教育基本法によるわが国教育の基本的な目的と方向性を理解し、特に「新学習指導要領」の理念や教育課程についてその基本となる事項や実践上の課題等、具体的な理解を図る。 2. 現場での教育課程の編成、方法や技術など教育活動をより効果的に実践していくための運営とその能力を育成する。 | ①学習指導要領を理解し、教育課程編成の基準となる事項および教育活動の内容を理解する。②教育課程論、教育内容・方法論等に関する具体的実践事例を通して、学校教育のあり方、カリキュラムのあり方を常に問い直すことのできる能力と姿勢を身につける。 | | ○ | | ◎ | ○ | | | | |
| 19JTES2008 | 道徳教育指導概論 | 2 | 1. 学校教育活動全体の中で、意図的・無意識的に道徳的な心情・判断力・実践意欲と態度などの道徳性を形成していることを知る。 2. その過程で、自らを律しつつ、人間として円満に成長する「あゆみ」について探究し、今後の道徳教育のあり方と実践方法・教材等について探求する。 | ①道徳教育に関する基本的な概念を理解する。②「生きる力」を育むことにより、中学生一人ひとりの豊かな心を育て、人生・社会を切り拓く実践的な力の育成を図る。③実際に中学校において道徳を指導する場面を想定し、指導案の作成や教材研究を試みながら「特別の教科 道徳」を担当できる知識と技術を身につける。 | ○ | | | ◎ | | ○ | | ○ | |
| 19JTES2009 | 総合的な学習の時間と特別活動 | 2 | 中学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間および特別活動の特徴をとらえるとともに、具体的な演習等を通して、中等教育における総合学習や特別活動の指導のあり方について理解を深める。 | ①学習指導要領における総合的な学習の時間・特別活動の目標および内容を理解している。②教育課程上の位置づけや他教科等との関連を理解している。③活動の特質を理解し、適した指導法のあり方について理解している。 | | | | | | ◎ | | ○ | ○ |
| 19JTES1010 | 教育方法の理論と技術 | 1 | 1. 教育方法学の概要を学び、教授・学習に焦点をあて理論と実践の乖離を克服し、理論を教育実践に活用するための「方法・技術」に関する基礎的な知識を習得する。 2. 「教育方法学」の領域は、授業の技術的原理に関する問題だけではなく、教室における子どもの学習の経験の問題、カリキュラム構成と評価に関する問題、教室における教師と子どものコミュニケーションの問題、教師と教師教育に関する問題などを包摂して成立していることを学ぶ。 | ①教育方法学の歴史や日本の授業と授業研究の概観などに関する基礎的な知識を修得することを通して、より豊かな教育観、授業観をもつことができる。②授業づくりの諸理論に関する基礎的な知識を修得し、それらの理論を学習指導法と関連づけて説明することができる。 | | ◎ | | | ○ | ○ | | | ○ |
| 19JTES1011 | 生徒指導・進路指導 | 2 | 1. 学校現場において、いじめ・不登校・暴力行為・学級崩壊など様々な問題が生起している実態や背景・原因等を知る。 2. 生徒指導の意義を正しく理解するとともに、生徒指導上の課題にいかに対応し得るかを主体的かつ具体的に考察する。 3. 進路指導上の課題と対応について考察する。 | ①生徒指導の意義と機能について理解する。②教育課程と生徒指導の関連を理解する。③生徒指導体制の重要性を理解する。④青年期の心理と発達の特徴を理解する。⑤生徒理解の方法を理解する。⑥進路指導の意義と方法を理解する。 | | | ◎ | | ○ | | | | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目 | | | | | | | | |
|------------|-----------|----|--|--|----------------------|----|-----|----|---|----|-----|------|---|
| | | | | | 凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | |
| 19JTES2017 | 教職実践演習(中) | 2 | <p>1. 中学校教員の使命と役割、職務の内容を理解し、学校教育において教員に求められる実践力を最終確認し、補完指導を行う。</p> <p>2. 学生自身が教育実習や学校ボランティアなどで経験した内容を伝え合い、意見を交流する中から問題意識を起こさせ、それを解決する姿勢を育成する。</p> <p>3. 中学校当該教科の授業内容についての理解を確認し、授業構築の方法について実践の観点から検討し、授業運営の基本的な知見を身につける。</p> | <p>①中学校教員として高い教職倫理観を有している。②地域社会の人々から教員として信頼される対人関係を築くことができる。③生徒を臨床的に理解し、適切な理解を踏まえて、望ましい生徒指導および学級経営を展開することができる。④中学校教科を教授するに足る各専門分野の基礎的知識および技能を総合的に修得している。⑤自らが実施した専門教科の授業(模擬授業を含む)について自己評価を行い、これに他者評価を加えて、授業改善を行うための最小限の授業運営能力および態度を身につけている。</p> | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ |

●各教科の指導法

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 中学校教職課程修了に必要な資質能力大項目 | | | | | | | | |
|------------|---------|----|---|---|----------------------|----|-----|----|---|----|-----|------|---|
| | | | | | 凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | |
| 19JTES1017 | 国語科指導法Ⅰ | 1 | <p>1. 中学校国語科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。</p> <p>2. 様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中学校国語科の授業を構築する力を身につける。</p> | <p>①学習指導要領における中学校国語科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。②中学校国語科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。③中学校国語科の学習評価の考え方を理解している。④中学校国語科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。⑤学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</p> | | | | ◎ | | | | | ○ |
| 19JTES2018 | 国語科指導法Ⅱ | 2 | <p>1. 中学校国語科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得する。</p> <p>2. 中学校国語科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教師としての実践力を探求する。</p> <p>3. 授業を行うに当たって必要な「教師としての振る舞い」を学ぶ。</p> | <p>①模擬授業において授業を実施できる。②模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。③授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。④中学校国語科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。⑤中学校国語科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。</p> | | | | ◎ | | | | | ○ |
| 19JTES1019 | 英語科指導法Ⅰ | 1 | <p>1. 中学校英語科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。</p> <p>2. 様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中学校英語科の授業を構築する力を身につける。</p> | <p>①学習指導要領における中学校英語科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。②中学校英語科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。③中学校英語科の学習評価の考え方を理解している。④中学校英語科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。⑤学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</p> | | | | ◎ | | | | | ○ |
| 19JTES2020 | 英語科指導法Ⅱ | 2 | <p>1. 中学校英語科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得する。</p> <p>2. 中学校英語科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教師としての実践力を探求する。</p> <p>3. 授業を行うに当たって必要な「教師としての振る舞い」を学ぶ。</p> | <p>①模擬授業において授業を実施できる。②模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。③授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。④中学校英語科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。⑤中学校英語科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。</p> | | | | ◎ | | | | | ○ |